

既指定地域における評価書 <長岡京駅周辺地域(H14.10指定)>

●評価書

都市再生緊急整備地域名	長岡京駅周辺地域
-------------	----------

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	<p>【第二期 長岡京市都市計画マスタープラン(平成28年3月策定)】 ○JR長岡京駅西口地区においては、市民生活を支援する商業・福祉・医療・教育サービスや交流などの機能の集約とともに、既存商店街のにぎわいをさらに高める商業機能の強化を目指す。 ○JR長岡京駅東口地区は、都市基盤の整備と併せた計画的な土地利用の転換と高度利用、研究・業務施設などの集積を目指す。</p>	<p>都市開発事業としては、西側地域にて、再開発事業による商業、公共公益、住宅等の整備が、平成18年1月までに完了している。 東側地域では、民間による業務施設(本棟、研究開発棟)の整備が、平成19年10月までに完了している。東側地域の残る未利用地についても、業務・研究開発施設の整備が予定されていたが、土地所有者による事業活用の具体的な計画がなく、近年中の事業化は非常に困難な状況である。 公共施設整備としては、道路、駅前広場、公園、ペDESTリアンデッキの整備が完了している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口(地域内) 842人(H17)→861人(H27) :約2%増(市全体:約2%増) 世帯数(地域内) 326世帯(H17)→349世帯(H27) :約7%増(市全体:約7%増) 地価(地域内) 29.4万円/㎡(H24)→30.0万円/㎡(H28) :約2%上昇(市全体:約1%上昇) 1日当たり乗降客数(長岡京駅) 33,340人/日(H14)→40,904人/日(H26) :約23%増 	

項目別評価	<p>「第二期 長岡京市都市計画マスタープラン」において、都市機能の集約や商業機能の強化、研究業務施設などの集積を目指すとしてされている。</p>	<p>西側地域では、都市開発事業等が完了し今後予定されている事業はない。 東側地域でも、都市開発事業がひと段落している。民間所有の未利用地における事業化は、近年中には困難であり、見通せない。</p>	<p>1日当たり乗降客数等において、効果の発現が認められる。</p>	
-------	---	---	------------------------------------	--

総合評価	<p>都市開発事業・公共施設整備が完了し、整備の目標は概ね達成された。 なお、都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。</p>	⇒ 地域指定を解除		
------	--	-----------	--	--